【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」

# 学校だより　堂崎っ子

第 17 号
令和 8 年 10 月 29 日
南島原市立堂崎小学校
校　長　　末吉　優

## 読書集会　１０月２１日（水）　お話の会「チューリップ」の皆様にはお世話になりました。




堂崎小学校では、10月19日（月）～11月30日（月）まで「秋の読書週間」と併せて、読書への関心をもってもらおうと様々な試みを行っています。

早速、21日（水）は、図書委員会のメンバーが中心となり読書集会を行いました。

①10月までに年間目標冊数に達した児童の「多読賞表彰」

②図書クイズ、おすすめの本の紹介（図書委員会）

③お話の会「チューリップ」の皆さんからの読み聞かせ等　がその内容でした。

チューリップからは、4名が、ご自分の仕事の調整をして来校いただきました。まず、手あそび等で子供たちの関心を引き寄せ、絵本等の読み語りをされました。

これからも更に、読書に親しみ、多くの知識や人として成長するための「心の栄養」を吸収してほしいと思います。

＜ だるまさんの ○○ ＞



＜ 手あそび＞ リラックス



＜エプロンシアター：「おむすびころりん」＞



＜大型絵本の読み聞かせ「花さきやま」＞



＜まき絵「つきのぼうや」＞



## 有家町文化美術展への作品展示　10月30日（金）～11月1日（日）16時　ありえコレジヨホール　（敬称略）

実りの秋、芸術の秋と申しましょうか。学習した成果を地域の皆様へ紹介する機会をいただきました。本校からは、下記の児童の作品を展示しています。町内の皆さんの作品と併せて御覧いただければと思います。

| | | |
|---|---|---|
| 1 年 | 【絵画】 | |
| | 【書】 | |
| 2 年 | 【絵画】 | |
| | 【書】 | |
| 3 年 | 【絵画】 | |
| | 【書】 | |
| 4 年 | 【絵画】 | |
| | 【書】 | |
| 5 年 | 【絵画】 | |
| | 【書】 | |
| 6 年 | 【絵画】 | |
| | 【書】 | |

## 代表委員会での決定事項について　(自分たちで創り上げる堂崎小に)

9月に、「もっと気持ちのいい堂崎小学校にしよう」という議題で代表委員会を行いました。大きく二つの柱について話し合いを行いました。　提案理由は次のとおりです。

「自分から先に挨拶ができていない姿や、落ち着かない姿が見られる。みんなの力で堂崎小学校のいいところをもっと伸ばしていきたい。」



① あいさつへの取り組み

◇だれにでも元気にあいさつ　自分から

◇ワンストップ！　名前をつけて元気よく

正直なところ、挨拶については十分とは言えません。兼ねてから「出会った人には、自分から」という指導を行ってきました。「あいさつ・ありがとう・あとしまつ」という「3つのあ」について目標を掲げて3年。　社会生活において他者との関わりを大切にするために「良き習慣」として身に付けさせたいという願いがあります。併せて、相手を意識し、敬意を表したあいさつを推進しています。




世の中には、視力が弱い人・目が不自由な人、聴力が弱い人・耳が聞こえにくい人など、様々です。気持ちのこもった元気なあいさつにお辞儀を加えると、相手を意識したあいさつに必ず繋がります。

子供の良き習慣化のために、御家庭でも声かけ、御支援をよろしくお願いします。

② 堂崎小「学校メディア宣言」について

**「 早ね早おき　メディアは2時間！　（8時まで）**

**～30分に1回は目を休めよう～　」**

長崎県ココロねっこ運動の取組の一つとして、「メディア宣言」をつくりました。代表委員会の議題として、各学級で話し合い、メディアの使い方について確認しました。

メディアをコントロールすることで、自分と向き合う時間、家族で過ごす時間・家族の団らんがつくれます。これらは、成長のために必要な時間で、心身の健全な育成に欠かせないものです。

今回、自分たちでつくったメディア宣言を実践し、メディアと上手につきあえるようになってほしいと思います。御家庭においても見守りと声かけをよろしくお願いします。

## 有家中学校合唱コンクール：6年生鑑賞　　10月27日（火）



今年も6年生が「有家中学校合唱コンクール」を鑑賞させていただきました。

中学生は、限られた短い時間の中で練習を重ね、美しいハーモニー、心を重ねた歌声を披露しました。 前日の臨時休業の影響を感じさせない合唱コンクールで、中学生の団結力とパワーを感じました。

本多校長先生の言葉に、「声を合わせるのと同時に、心を合わせないと良い合唱はできない。」とあり、まさに合唱コンクールに取り組む大きなねらいがあると思った次第です。

鑑賞した6年生は、来年、ステージの上に立つ自分たちを重ね合わせ、美しいハーモニーを披露するという思いを抱いたにちがいありません。